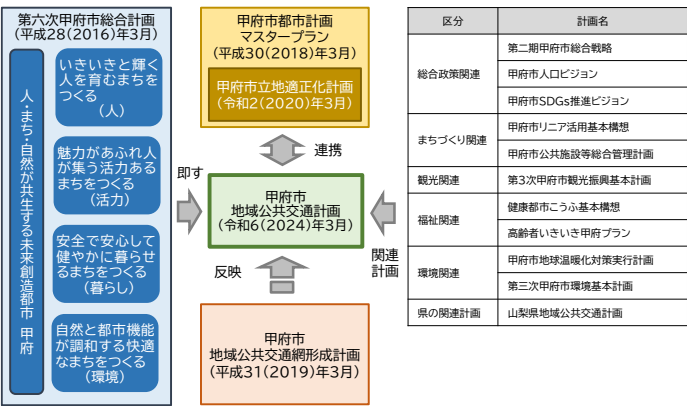


甲府市地域公共交通計画 概要版

計画策定の背景及び目的

本市の地域公共交通は、基幹的な輸送を担う鉄道と、その鉄道を補完する路線バス、タクシー等が相互に連携し、通勤、通学、通院をはじめとした市民の日常生活を支える社会基盤として重要な役割を担っています。

コロナ禍を経ての市民ライフスタイルの変化をはじめ、自動車運転者の労働時間等の改善のための基準の改正、運転士不足、収益機会の喪失等、地域公共交通を取り巻く環境が大きく変化していることから、地域公共交通ネットワークの持続化を図るため、上位・関連計画との整合・連携を図る中で、甲府市地域公共交通計画を策定します。



【計画区域】 甲府市全域

【計画期間】 5年間(2024年度～2028年度)

地域公共交通を取り巻く課題等

本市と地域公共交通の現況や各種調査(市民アンケート調査、バス事業者ヒアリング調査)の結果等を踏まえ、本市の地域公共交通を取り巻く課題を明らかにします。

1 地域公共交通以外の分野との連携の視点

課題 1 地域公共交通ネットワークのサービス内容の維持

立地適正化計画に位置付けたエリアへの居住誘導を図りながら、地域公共交通の利用者を維持・確保するため、路線バスのサービス内容を維持するための取り組みを講じていくことが課題となります。

課題2 市街地の外延化と高齢化率の高まり

地域公共交通のサービスレベルが低い地域を中心に、福祉関連と連携しながら、移動手段に困る方の買い物や通院等の日常生活を支える移動手段を確保していくことが課題となります。

課題3 観光客の取り込み

観光客の市内滞在時間の延伸をはじめ、地域公共交通の収益力の改善を図るため、観光関連と連携しながら、インバウンドや国内観光客にとっての地域公共交通の二次交通化を促進していくことが課題となります。

課題4 運転士不足の顕在化

路線バスをはじめとする地域公共交通の運行継続を行っていくため、産業関連とも連携しながら、地域公共交通の事業者が実施する運転士の雇用の取り組みを支援していくこと等が課題となります。

課題5 リニア開業後のリニア利用者の移動のあり方

リニア関連とも連携しながら、(仮称)リニア山梨県駅と本市を含むリニア利用圏域とのアクセス性を向上させるための移動手段のあり方を検討していくことが課題となります。

2 地域公共交通分野の固有の視点

課題6 公共交通空白地域の存在や環境の変化に柔軟に対応する移動手段

公共交通空白地域から路線バス停留所や商業・医療施設等への移動手段を確保していくことが課題となります。

3 地域公共交通の持続化を図るための視点

課題7 外出頻度・生産年齢人口の減少や高齢化率の高まりによる地域公共交通利用者数の減少

地域公共交通を維持していくためには、年少の頃から地域公共交通が身近なものとして理解される取り組みをはじめ、自動車から地域公共交通への転換の促進や利用頻度を高める取り組みを講じていくことが課題となります。

計画の基本理念と基本方針

課題解決に向けた取組を行う上で、基本理念・基本方針を定め、将来にわたり誰もが暮らしやすい地域公共交通の実現を目指します。

基本理念

みんなでつなぐ 誰もが暮らしやすい持続可能な交通体系の実現



基本方針

基本方針1

各種計画等と整合を図りながら移動需要に応じた地域公共交通ネットワークの適正配置

- 地域公共交通以外の分野との連携が必要な課題に対応します。
- まちづくり等と地域公共交通が連携しながら、各地域と都市機能施設や観光地を地域公共交通ネットワークで結んだコンパクト・プラス・ネットワークの実現が図られるよう取り組みます。

基本方針2

新たな移動手段と既存の移動手段の組み合わせによるネットワークの形成

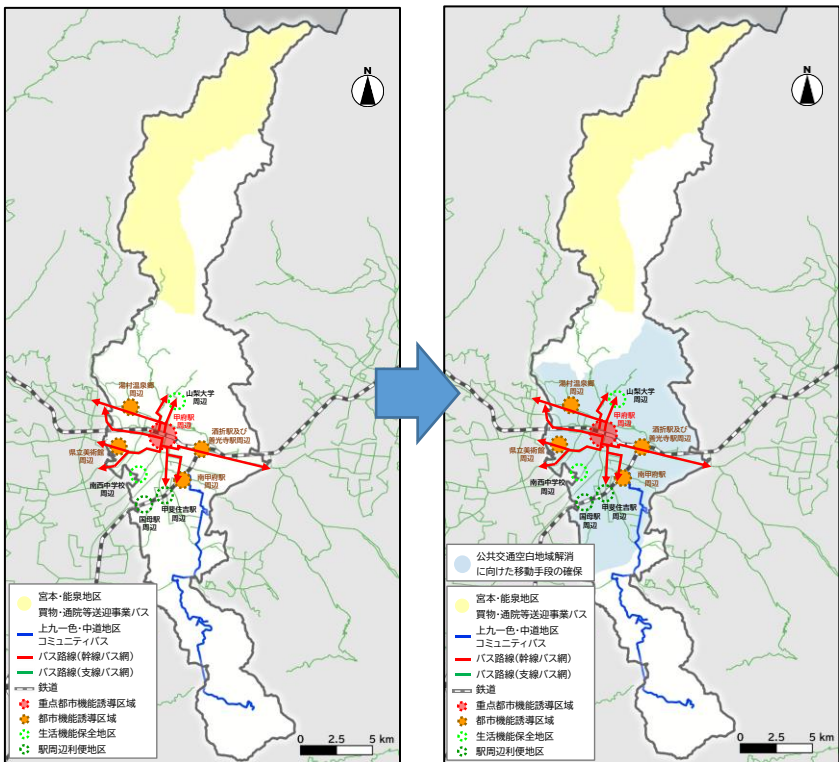
- 地域公共交通分野の固有な課題に対応します。
- 経営資源(ヒト・カネ・モノ)が限られる中、運用改善や効率化を意識しながら、多様な移動手段を有効活用する地域公共交通ネットワークの形成に取り組みます。

基本方針3

地域公共交通の持続化を図るための利用促進

- 利用促進に関する課題に対応します。
- 持続可能な地域公共交通の形成を図るために、地域公共交通の利用を促進させたいターゲットの特性に応じた利用促進策に取り組みます。

【目標とする地域公共交通ネットワーク】



甲府市地域公共交通計画の推進体系

